

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	4500 出会いの場創出事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		7	子育て支援の充実	根拠法令	旭市後継者対策協議会設置要綱	2	1	10	☒ 主な事業（重点施策）重2
施策体系		15	結婚・子育て環境の整備	戦略事業	68 出会いの場創出事業				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業					☐ 新市建設計画
									☒ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●旭市後継者対策協議会（通称：出会いコンシェルジュ）により、結婚願望があり出会う機会が少ない独身者に、各種パーティやイベント等の出会いの場の提供や、セミナー開催など婚活を支援し、結婚の増加により、市の人口減少対策の推進及び定住化の促進を図る。 ●旭市後継者対策協議会委員は任期2年、20人以内で市長が委嘱（無報酬）、会議は年4回程度、イベントスタッフとしても参加する。 ●会員希望者は会員登録を行う（20歳以上の独身者、男性は旭市在住、在勤、在住予定者）。婚活イベントには会員以外も参加できる（会員優先。男性は会員のみのイベントもある）。イベントのお知らせメールは会員のみ。会員が結婚し報告があれば商品券を贈呈する。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
全国的に未婚化、晩婚化が進行し、深刻な社会問題になっており、自治体による婚活支援が行われ始めたことを契機に、平成19年度に旭市後継者対策協議会を設置し、出会いの場の提供等の婚活支援を開始した。	・平成17年、22年国勢調査の数値を比較すると、全国的にも旭市においても、未婚率は増加している。 ・旭市事業開始後、H22年度鉾田市、H23年度匝瑳市、香取市が婚活支援事業を開始。（鉾田市はH26で終了）
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
参加者からは、「市が事業をやってくれるのはありがたい」、「市の事業なので、安心して参加できる」、「他市と合同で開催してほしい」などの意見・要望がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位: 千円
1. 負担金補助及び交付金	1,500	出会いの場創出事業補助金
2. 旅費	0	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	1,500	地域振興基金繰入金

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費計 (A)	1. 負担金補助及び交付金	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	2. 旅費	千円	0	2	0	0	16
		千円					
		千円					
		千円					
財源	1. 国庫支出金	千円	1,500	1,502	1,500	1,500	1,516
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	5. 一般財源	千円	0	2	0	0	16

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1 人	最大		人	×		日	=	延べ	0 人
-------	----	-----	----	--	---	---	--	---	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・旭市後継者対策協議会会議の開催 ・パーティー等の出会いの場やセミナーの企画・開催 ・会員の募集・登録 ・利用規約に基づく事業の実施 ・近隣市等と合同でのイベント実施	⇒	ア イベント(出会いの場、セミナー)の実施回数	回	13	11	9	9	10
			イ 会員登録者数	人	411	421	467	487	500

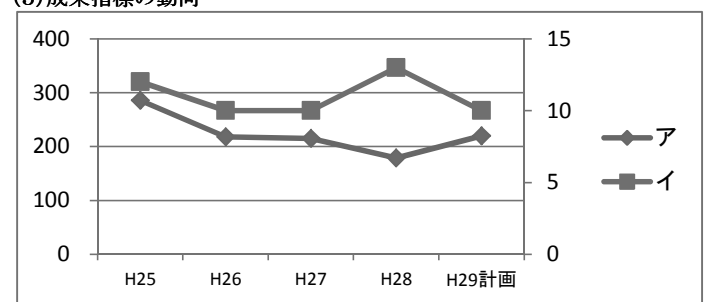
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 ・独身者(男性は市内在住・在勤・在住予定者に限定、女性は限定していない。) ・独身者が出会いの場やセミナーなどの婚活イベントに参加する。 対象意図 ・会員及びイベント参加者 対象意図 ・会員及びイベントの参加者が結婚に至る。	⇒	ア イベント(講演会を除く)に参加した人数	人	286	218	215	179	220
			イ 会員で結婚報告があった数	人	12	10	10	13	10

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地
施策貢献度	大きい	かなりある
	普通	ある程度ある
	小さい	ほとんどない

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率
評価結果	①	下位 1/3
	②	中位 1/3
	③	上位 1/3
	④⑤	
	⑥	
	⑦⑧	
	⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由) ・1回のイベント参加人数が減少したため ・中止となったイベントがあったため					24年度 25年度 25年度 26年度 26年度 27年度 27年度 28年度 28年度 29計画 29計画
	③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性		
	H29.4～		イベント開催時期や内容について、さらに協議・検討を行う。	H29 2～3月ごろ	拡大 縮小 現状維持 廃止・休止 見直し その他()	イベント開催時期や内容によっては人が集まらないため、それらを検討する必要がある。